

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ギンイチモンジセセリ	セセリチョウ科	文字通り「銀一文字」	x	△	x	減少傾向



多摩川土手 4月下旬 (2003年)



多摩川土手 5月上旬 (2013年) ハルジオンで吸蜜



多摩川土手 4月下旬 (2019年)  
めったに羽を開いてとまらないが地味な褐色

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年		越冬形態			
ススキ、ヨシほか (イネ科)						2~3		幼虫			

多摩川土手では4月中旬あたりから食草のススキ類のあるところを中心に飛びハルジオン、ヒメジョオン、タンポポなどで吸蜜します。羽の表は黒っぽい褐色で特徴はありませんが、裏には銀の筋が一本はいるので見分け方が難しいセセリチョウの中で見間違ふことはありません。飛び方が弱々しくチラチラと飛んでいる割にはなかなかとまってくれません。このあたりでも減少傾向は著しいのですが全国的にも環境省の「準絶滅危惧種」(現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては、より危険度の高い絶滅危惧に移行する可能性のある種)に指定されています。台風で多摩川が増水したときなど心配になりますが、翌年に飛び始めるのが確認できるとほっとします。



多摩川 10月13日 (2019年) 台風19号一過



多摩川 4月下旬 (2020年)  
前年の台風19号による増水で生息地が濁流に吞まれ心配したがとりあえず無事は確認できた。